令和5年度
事業報告書

自：令和5年4月1日

至：令和6年3月31日

社会福祉法人若狭町社会福祉協議会

法人運営事業

◇ 組織体制の強化

・ 理事会の開催

4月17日	第1号議案	評議員選任候補者の推薦案について
6月6日	第1号議案	令和4年度事業報告及び決算報告について
	第2号議案	次期役員を選任案について
	第3号議案	定時評議員会の招集について
6月23日	第1号議案	会長、副会長、常務理事の選定について
	第2号議案	評議員選任・解任委員の選任について
9月19日	第1号議案	赤い羽根共同募金運動について
	第2号議案	役員及び評議員選任解任細則の変更及び評議員選任候補者について
	第3号議案	給与・退職金規程及び非正規職員就業規則の変更について
	第4号議案	役職員慶弔規程の変更について
12月14日	第1号議案	上期中間監査報告及び今後の事業運営について
(監査報告)
	第2号議案	令和5年度第1次補正予算(案)について
	第3号議案	給与・退職金規程の変更について
	第4号議案	評議員会の招集について
3月13日	第1号議案	令和5年度第2次補正予算(案)について
	第2号議案	就業規則の変更について
	第3号議案	非正規職員就業規則の変更について
	第4号議案	給与・退職金規程の変更について
	第5号議案	経理規程の変更について
	第6号議案	役員等損害賠償責任保険契約について
	第7号議案	令和6年度事業計画(案)並びに予算(案)
について
	第8号議案	評議員会の招集について

・ 評議員会の開催

6月23日	第1号議案	令和4年度事業報告及び決算報告について
	第2号議案	次期役員を選任について
12月22日	第1号議案	上期中間監査報告及び今後の事業運営について
	第2号議案	令和5年度第1次補正予算(案)について
3月21日	第1号議案	令和5年度第2次補正予算(案)について

第2号議案 令和6年度事業計画（案）並びに予算（案）
について

- ・ 監事会の開催
5月23日 令和4年度決算監査について
11月22日 令和5年度上期中間監査について
- ・ 三役会の開催
計12回開催し、決算の作成、理事会、評議員会の招集および議案の提出、人事に関することについて協議しました。
- ・ 事業所会議（安全衛生委員会）の開催
計12回開催し、事業所内における課題と対策に関することについて協議しました。
- ・ 福祉サービス苦情受付窓口の設置
福祉サービス利用者からの苦情を受け付ける苦情受付窓口を設置しました。
また、苦情解決にあたり、中立・公正な立場から助言を行う第三者委員を設置しました。
○苦情受付件数 2件

◇ 人材確保と人材育成

- ・ 新卒職員の定期採用のため、職員募集を行い積極的に就職フェアへ参加しましたが採用には至っていません。昨年度に引き続きふくいインターンシップへの登録を行い、学生1名を受入しました。
- ・ 人材を育成するため、医療福祉職の実習生の受け入れを行いました。
- ・ 新卒採用職員を対象として、新卒採用職員育成プログラムに基づきOJTを中心に人材育成を実施し介護職員として従事することとなりました。

◇ 安定した財源確保

- ・ 自主財源の安定した確保が困難となっている中、当会の資金を安全で確実有利な形で管理するため、福井県令和5年度第6回公募公債（グリーンボンド）を購入しました。
- ・ 災害及び感染症発生緊急時の対策としてBCP（事業継続計画）の作成に取り組みました。
- ・ 社協会費、積立金実績（R6.3.31現在）

○会費	一般会費	3,358 世帯加入	3,243,914 円
	特別会費	193 件加入	1,143,000 円

○積立金	設備等整備積立	16 件	2,187,036 円
	修繕積立	5 件	40,000 円

地域福祉事業

<小地域福祉活動推進事業>

- ◇ 地域課題解決を目的とする、住民が主体となった福祉活動の支援
 - ・地域づくり協議会へ参加し、地域住民との意見交換や課題の解決にむけての情報提供を行いました。
 - ・小地域福祉活動推進モデル集落を2集落指定しました。集落代表者と個別に連絡をとり、定期的に課題の共有や情報交換を行うことで集落の将来を見据えたこれからの福祉活動について検討する機会を作ることができました。

- (1) 熊川地区支え合い推進委員会 2回
- (2) 小地域福祉活動推進モデル集落の設置（共同募金審査委員会にて決定）
令和4年度～令和6年度：下タ中区、兼田区

- ◇ 福祉委員が地域福祉活動において中核的な役割を担う人材となるための支援
 - ・福祉委員活動のきっかけづくりや活動に有益な情報（福祉関係機関の連絡先一覧等）を記載した資料を作成し、上中地域、三方地域それぞれで福祉委員研修会を行いました。

<ボランティアセンター運営事業>

- ◇ 住民や企業に向けたボランティアセンターの周知とPR
 - ・町内をはじめ県内のボランティア体験活動情報（ボランティア体験2023）について広報誌を活用し発信しました。また、地域のボランティアを広報誌にて紹介し、住民へボランティア啓発を行いました。ボランティア説明会を開催し、ボランティア活動に繋ぐことができました。
 - ・三方建築業組合による家屋補修ボランティアを8月20日に実施しました。11月19日に上中建築組合による家屋補修ボランティアを実施しました。

(1) ボランティア登録、更新、斡旋業務の充実

個人ボランティア登録者数	5名
ボランティア団体登録数	2団体
ボランティア活動保険加入者数	744名

(2) 福祉教育の推進

ボランティア出前講座の開催

9月21日	福祉について	梅の里小学校
9月28日	福祉について	鳥羽小学校
11月16日	高齢者疑似体験	鳥羽小学校
11月24日	点字体験	梅の里小学校
11月29日	車椅子体験	鳥羽小学校

12月1日	福祉、障がい、ユニバーサルデザインについて	気山小学校
12月7日	視覚障がいについて（当事者講演）	梅の里小学校
12月19日	高齢者疑似体験	気山小学校
1月16日	福祉についての講義	三方小学校
1月18日	障がいについての講義、アイマスク体験	瓜生小学校
1月19日	障がいについての講義	三方小学校
1月23日	高齢者疑似体験	三方小学校
1月25日	車椅子体験	梅の里小学校
1月31日	手話体験	三方小学校
3月7日	アイマスク体験	三方小学校

(3) 家屋補修支援事業

三方地域 8月20日 希望者 9件 実施 4件 ボランティア 7名
 上中地域 11月19日 希望者 7件 実施 7件 ボランティア 15名

(4) ボランティア活動への支援

図書館ボランティア『虹の会』 おげんきですか発行支援 4回

(5) サポーター企業について

ボランティアセンター運営委員会で、サポーター企業と地域との関わり方としてサロングループの活動支援を目的に企業見学会を実施すること等について検討しました。

(6) 地域で支える送迎サービス

利用登録者 49名 貸出件数 193件 利用延人数 739名

(7) レクリエーション用具の貸出し

みそみ保育所保護者会、浄漣寺日曜学校（鳥浜区）、上吉田サロン会、上野区サロン、安賀里区、上中 JBC、三方公民館、東黒田サロン、三方地域づくり協議会、のぞみ会

<つながりの輪推進事業>

◇ ボランティア活動を通じた地域へのつながりを推進

- ・ボランティア活動普及のためボランティア出前講座について当会での取り組み内容を社協だよりや SNS を通じて啓発を行いました。
- ・「共に生きる力」を育む「福祉共育」として、梅の里小学校を指定校とし、福祉についての出前講座や SDGs を 1 年通して行い、高齢者・障がい者と接する機会を持ち地域福祉の推進を図りました。

<若狭町災害ボランティアセンター連絡会運営事業>

◇ 発災時の動き方や設置、運営に関する協議

- ・若狭町担当課と災害ボランティアセンターの今後の運営方法について検討しました。
- ・災害ボランティアセンターに関する研修会に参加し、運営に関する知識を深めました。

<送迎支援サービス事業>

◇ 住民のニーズを踏まえた支え合える体制づくりの推進

(1) 個人用福祉車両貸出し事業 (24 件)

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
個人用貸出	50	1	0	0	1	3	1	6
		3	3	3	4	1	0	14
地域で支える 送迎サービス	1,080	76	67	76	74	59	60	412
		71	60	68	62	59	61	381

(下半期)	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	合計
個人用貸出	1	1	1	1	1	3	8	14
	0	0	1	3	4	2	10	24
地域で支える 送迎サービス	66	68	74	61	65	71	405	817
	69	63	60	48	56	62	358	739

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

<福祉総合相談事業>

◇ 各種相談事業の周知と様々な相談への対応

(1) 心配ごと相談

毎月第 2 火曜日 12 回開催 相談件数 5 件 (上中地域 2 件、三方地域 3 件)

(2) 無料法律相談

毎月第 2 火曜日 12 回開催 相談件数 55 件 (上中地域 26 件、三方地域 29 件)

- ・相談内容により、若狭町担当課と情報共有し相談者の課題解決のため連携を行いました。

<生活困難者支援事業>

◇ サービス利用者に合わせた適切な支援

- ・認知症高齢者や知的障がい者など、判断能力の不十分な方が在宅生活を継続していくため、地域住民や関係機関と連携しながら、適切なサービスの提供に努めました。

- ・生活福祉資金貸付事業において借入申込受付を行いました。相談はありましたが、契約には至りませんでした。
 - ・当会が実施する介護サービスの利用者のうち、家庭の事情等により金銭等の管理が困難な方の、少額の現金および自宅出入口の鍵を管理しました。
 - ・所持金が少なく、食事に困っている生活困窮者に対して、食糧の提供を行いました。
- (1) 日常生活自立支援事業
(新規契約 0 件、契約終了 0 件、現在利用中 13 件)
 - (2) 金銭等管理事業
(新規契約 1 件、契約終了 1 件、現在利用中 6 件)
 - (3) ふくしの資金貸付事業
 - ①生活福祉資金貸付
(新規契約 0 件、契約終了 0 件、現在利用中 60 件)
 - ②たすけあい金庫貸付 1 件
 - ③緊急食糧支援事業 1 件
 - (4) ふく福くらしサポート事業
生活困難者を対象に総合的な相談や生活支援（現物給付）を行いました。
(相談 1 件、利用 3 件)

<広報活動>

- ◇ 様々な世代に対する地域福祉活動などの福祉情報の広報
 - ・地域福祉に関心を持ってもらえるよう、住民の関心の高い情報を広報誌や SNS を使い、発信するため企画を検討しました。若狭町で活躍する外国人、若者、福祉関係者の紹介や町内の福祉サービス事業所紹介、町内でボランティア活動をされる方の紹介を掲載しました。
 - ・地域での福祉活動などに活用頂けるレクリエーション用具を新たに整備し、広報誌等で発信したことにより、新たな利用先への貸出しへと繋がりました。
 - ・ホームページや SNS を使い、町内の情報をはじめ県内のボランティア情報や福井県共同募金会の情報を発信しました。
- (1) 社協だよりの発行 4、6、8、10、2 月発行
 - ・発行回数や内容の見直しを行い、ホームページや SNS などの媒体を活用し、よりリアルタイムな情報の提供を行いました。

<介護予防・生活支援>

- ◇ 福祉用具が必要な方への貸出し

- ・福祉用具の利用状況（利用者の状態に適しているか、異常の有無）を確認し、貸出用具が有効に活用されている状態を維持できるよう取り組みました。
- ・必要に応じて貸出用具を整備し、いつでも貸し出せる状態を維持しました。

（１）介護用品無料貸出事業

ベッド	貸出し中	16台	（残 0台）
車いす	貸出し中	7台	（残 14台）
スロープ	貸出し中	1台	（残 2台）
サイドテーブル	貸出し中	0台	（残 3台）

<障がい者アート作品公募事業（きらりアート展）>

- ◇ 障がい者および特別に支援を必要とする児童・生徒の公募アート作品展開催
 - ・県の障害福祉施設情報を基に公募案内先を見直し、新たな障害福祉事業所へ公募案内を行いました。その結果、新規事業所からの出品があり新たな作者の発掘や活躍できる場の提供へとつながりました。
 - ・申込受付(225点)及び審査会を実施し、受賞作品36点が決まりました。パレア若狭ギャラリー及び県庁、美浜なびあす、ネッツトヨタ福井、今年は新たに福井県立美術館での展示も加わり、障がい者アートを県内に広く周知する事ができました。
 - ・障がいや遠方に居住しているなどの理由で展示会に来ることが難しい方にも出展作品を楽しんでいただくため、当会のYouTubeチャンネルやSNSで全出展作品を掲載した動画制作を行い、配信しました。

<共同募金助成金事業>

- ◇ 集落での活動、障がい者や生活困難者への支援などさまざまな地域福祉事業への共同募金助成金の活用

【一般募金助成金事業】

- ・小地域福祉活動推進モデル集落（2集落）への助成
- ・きらりアート展の開催 応募数 225点
- ・要援護者支援調査
若狭町内の要援護者についての調査を行う費用として活用しました。
- ・児童遊具設置修繕費助成事業
児童遊具の設置または修繕が必要な集落へ、費用の一部を助成しました。
助成集落：神谷区、せせらぎ区、相田区

【歳末たすけあい募金助成金】

- ・障がい児（者）クリスマス会
障がいを持った子どもたちとその家族を対象に実施しました。

開催日：12月10日 参加者：30名

・歳末たすけあいひとり暮らし高齢者激励事業

町内在住の75歳以上で町内に実子がないひとり暮らしの方を対象に、「そば・豆」「花・お茶」「日用品」から希望する品を福祉委員が安否確認や孤独感の緩和を兼ねて配布して頂きました。贈呈品には、上中中学校、三宅小学校、野木小学校、みそみ小学校、三方小学校、梅の里小学校、気山小学校の児童生徒からの手書きのメッセージを同封しました。

配布日：12月14日 配布先：63集落 208名

・歳末お弁当プロジェクト

ひとり親家庭、生活保護受給者世帯、ひとり暮らし高齢者の支援を必要とする方を対象に、お弁当を届けました。お弁当は、中村康裕氏（善司郎食堂部）を講師に町内の高校生がボランティアとして60個作りました。

開催日：12月2日

通所介護事業

- ◇ 安全で安心した在宅生活の支援を目的とした多様なニーズを受け入れる体制作り
 - ・ 介護技術や知識を身に付けた職員を中心に、チームケアで送迎や入浴方法など個別対応をすることが出来ました。
 - ・ 外部ボランティアなどの受け入れをして地域交流を図ることが出来ました。
 - ・ 利用者ニーズに添った自立生活がスムーズに送れるよう、多職種と連携を取りサポートすることが出来ました。

＜デイサービスセンターパレア若狭＞

- ◇ 認知症個別ケアのサービス提供
 - ・ 短期記憶が著しく乏しくなった独居利用者のサポートをチームケアで行うことが出来ました。デイパレア若狭だけでなくヘルパーやケアマネとの連携をとり在宅生活の支援をすることが出来ました。
 - ・ 脳トレや創作活動を個別に行うことで、意欲向上、認知機能の低下予防につながりました。
 - ・ 認知症状がある利用者との信頼関係を築くことで、安心してデイサービスを利用し1日を過ごしていただけました。
 - ・ 実費サービスによる緩和型利用者の1日利用を開始し、ニーズに応えることが出来ました。
- ◇ 団塊世代の利用者を受け入れるサービス提供の検討
 - ・ 熊川地区のサロンに参加してデイサービスについてのアンケートを実施しました。若い世代の方のデイサービスに関する様々な想いを聞き取ることで、今後のサービス内容のあり方について知ることが出来ました。

- ◇ 利用実績（定員：18名 営業日：月曜日～土曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
通所介護	4,110	307	332	320	319	346	330	1,954
		336	376	356	335	295	277	1,975

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
通所介護	294	261	227	181	223	342	1,528	3,482
	297	271	272	271	254	272	1,637	3,612

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

◇ 利用実績（定員：7名、営業日：月曜日～金曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
緩和型A型	1,200	70	72	72	66	72	62	414
		61	42	47	33	29	34	246
（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
緩和型A型	65	63	50	62	69	82	391	805
	38	47	51	54	55	74	319	565

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

<デイサービスセンターいずみ>

◇ 機能訓練の充実

- ・ 排泄や着替え、入浴、食事等の日常生活動作そのものを機能訓練としてとらえ、職員が励まし、声かけを行いました。利用者のやる気を引き出すことに繋がりました。全体的な高齢化や身体機能・認知機能の低下があり予防できない部分もある中で、自立した生活を支援するために、向上にまでは至らなくてもその人の残存機能の維持に繋がる生活場面での適切な介助を行うことで、機能訓練に取り組みました。
- ・ 運動会や新年会を行った事で、利用者一人一人の普段見られない行動や表情、得意なこと等を知ることができ、今後の対応のヒントを得られました。

◇ 利用実績（定員：18名 営業日：月曜日～土曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
通所介護	3,115	287	274	245	261	274	251	1,592
		192	230	241	230	222	203	1,318

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
通所介護	239	229	224	212	193	226	1,323	2,915
	223	229	189	184	182	179	1,186	2,504

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

◇ 利用実績（定員：10名、営業日：月曜日～金曜日 ただし年末年始は除く）

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
緩和型 A 型	696	32	29	40	46	45	47	239
		26	18	16	18	24	31	133

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
緩和型 A 型	43	46	37	36	35	30	227	466
	37	27	31	35	34	41	205	338

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

<デイサービスセンター五湖の郷>

◇ 地域に根差した事業所として地域とつながる取り組み

- ・ 梅の里小学校、梅の里保育園との交流事業を再開し、園児による発表会や児童と利用者との交流会を実施しました。
- ・ 西田公民館のリニューアルオープンイベント（作品展示会）に多数の利用者の作品を出展することが出来ました。
- ・ 地域福祉事業と連携し、西田地域のサロンへ出向き PR 活動を実施することができました。

◇ 多様なニーズにも柔軟に応えられるサービス体制の整備

- ・ 男性利用者のニーズに応え、リハビリや脳トレにもつながる通常よりも大きなサイズの麻雀牌（リハビリテーション用）を取り入れることで握力低下や麻痺などがあっても楽しめ、意欲向上に繋がりました。
- ・ 利用者ニーズに沿った柔軟な利用時間の提供、及び独居の利用者への関わり方や支援について多職種と連携して実施することができました。

◇ 健全な経営を行うための事業内容及び人員体制の見直し

- ・ 利用状況や利用ニーズを把握し、令和 5 年 4 月より月曜～金曜日（週 5 日間）に変更することで人員体制の見直しを図りました。

◇ 利用実績（定員：18 名 営業日：月曜日～金曜日 ただし年末年始は除く）

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
通所介護	2,904	296	313	311	292	273	265	1,750
		205	217	190	197	192	187	1,188

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
通所介護	286	273	281	242	236	263	1,581	3,331
	201	176	180	129	140	130	956	2,144

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

◇ 利用実績（定員：5名、営業日：月曜日～金曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
緩和型A型	291	18	15	15	9	16	18	91
		33	39	28	31	40	30	201

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
緩和型A型	13	18	15	16	28	31	121	212
	25	30	27	22	24	24	152	353

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

居宅介護支援事業所パレア若狭

- ◇ 特定事業所の介護支援専門員としての資質向上
 - ・ 毎月開催されている地域ケア会議への助言者として6月7月8月10月1月に参加しました。また、同会議の参加者として5月と2月に事例提供を行いました。
 - ・ 若狭町ケアマネ連絡会で障がい福祉サービス担当者と障がい者福祉制度の研修や難病患者に対する災害時の対応について等専門的な研修等を受講し、資質向上に努めました。
 - ・ 2名の職員が主任介護支援専門員研修の受講を修了、1名の職員が専門課程Ⅰ・Ⅱの受講を修了し、各自必要な研修受講に努めました。

- ◇ 地域福祉事業、小規模多機能ホームとの連携強化
 - ・ 地域福祉事業との連携については、地域福祉事業で参加している地域サロンへ参加し、介護保険とケアマネの説明を行う事で地域の方にもケアマネの顔を知って頂く機会を得ました。今年度においては、熊川地区、みそみ地区、横渡集落のサロン等に参加しました。
 - ・ 小規模多機能ホーム利用者の家族の支援について小規模多機能ホーム、行政や社協内の各サービス事業所とも連携し、必要な支援を行いました。

- ◇ 相談窓口としての役割強化
 - ・ 窓口にプレートを設置し、来客者に相談窓口としての周知を行いました。
 - ・ 顔の見える関係づくりを目指し、福祉委員の研修会等への参加を計画していましたが、参加できませんでした。

◇ 利用実績

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
居宅介護支援	1,750	124	124	124	131	131	138	772
		143	147	144	137	130	130	831

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
居宅介護支援	142	141	142	134	135	146	840	1,612
	130	131	130	130	124	119	764	1,595

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

介護予防・上半期実績 78件、下半期実績 160件

生活支援ハウス

- ◇ 居住機能・介護支援機能・自立支援機能を総合的に提供
 - ・入居後も通所介護や訪問介護のサービスを継続し生活スタイルを変えることなく快適に過ごしていただきました。また12月には、制限していた面会を全面解除したことでご家族やご親戚、ご友人との交流が継続できて安心して過ごせると大変喜ばれました。
 - ・台風などの荒天時や介護者の緊急入院など、急を要する入居にも対応ができました。
 - ・遠方在住の家族が増えてきたこともあり、新たに有料受診付き添いサービスや救急対応サービスを導入したところ、ニーズがたくさんあり、ご家族にも喜ばれました。
- ◇ 各関係機関との連携を強化し適切な運営
 - ・民生委員の総会に参加して生活支援ハウスを紹介し、広く周知することができました。
 - ・退院後の在宅復帰が不安な方への選択肢として、病院の連携室から入居の問い合わせが多くありました。入居に繋がり在宅生活復帰の支援をすることができました。
- ◇ デイサービスセンターパレア若狭との連携
 - ・入居をきっかけに介護保険サービスの利用を開始し、同一敷地内にあるデイサービスパレア若狭に通うことで地域の方々との再会、交流の場を提供することができました。

- ◇ 利用実績（居室利用定員：12名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
生活支援ハウス	1,930	42	51	30	111	135	174	543
		48	54	104	74	131	108	519

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
生活支援ハウス	143	103	108	256	250	143	1,003	1,546
	88	114	138	297	275	221	1,133	1,652

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

訪問看護ステーションわかさ

- ◇ 各関係機関、他の事業所との連携強化
 - ・ 近隣医療機関や居宅介護支援事業所との連携をより密に行うことで、訪問看護が必要な方へ迅速にサービス提供を行いました。また、デイサービスやホームヘルプサービス等、同一の利用者に関わる事業所との連携に注力し、在宅サービスの充実を図りました。
 - ・ 地域ケア会議への出席等、地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組みました。

- ◇ 在宅生活を継続できる支援体制の整備
 - ・ 直行直帰等の働き方改革を継続し、職員が働きやすい環境を整えることでサービスの質の向上に努めました。
 - ・ 利用者の状態把握に努め、異常の早期発見を行うことで、在宅生活の維持とQOL（生活の質）の維持、向上に努めました。

- ◇ 多様な障がいへの対応
 - ・ 介護保険サービスだけでなく、精神障がいや難病等の医療保険利用者へのサービスを提供する等、より幅広い障がいへの対応を行いました。

- ◇ 健全な経営を行うため、策定した経営改善計画の遂行
 - ・ 感染防止等の研修に参加し、職員の感染対策を徹底することで、訪問体制の維持に努めました。

- ◇ 利用実績（営業日：月曜日～金曜日　ただし祝日、年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
訪問看護(予防)	693	44.5	53	46	53	71	59	326.5
		49	59	42	43	48	48	289
訪問看護(介護)	4,285	260	292	311	347.5	383	314	1,907.5
		310	311	330.5	261	330	301	1,843.5
訪問看護(医療)	1,374	112	114	173	152	146	137	834
		115	111	129	97	110	107	669

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
訪問看護(予防)	65	64	49	71	73	59	381	707.5
	48	53	49	44	46	42	282	571
訪問看護(介護)	326.5	326	302.5	266.5	254	353.5	1,829	3,736.5
	304	318.5	303	273	276	302	1776.5	3,620
訪問看護(医療)	137	104	130	85	83	104	643	1,477
	103	116	112	96	101	93	621	1,290

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

ホームヘルプサービスいずみ

- ◇ 中重度対応の強化
 - ・利用者の状態の変化について、申し送りや情報提供ができ、医療等からの指示もスムーズに共有し実施することができました。ガウンテクニックや口腔ケア等の実技も含め、スキルアップに必要な研修を行うことができました。

- ◇ 他事業所との連携強化
 - ・訪問時に気が付いた変化を関係機関へ伝えるだけでなく、在宅生活を継続するためのサービス内容の見直しや環境整備等の提案も積極的に行うことができました。

- ◇ 働きやすい環境づくり
 - ・サテライト事業所ほたる熊川宿については、熊川方面の訪問が少なく、出張所としての活用ができませんでした。会議等での施設利用も試みましたが、移動や準備物の都合もあり継続して行うことは困難と判断し、サテライト事業所は廃止としました。

利用実績 (営業日：月曜日～日曜日 ただし、1月1日～3日までは除く)

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
訪問介護(介護)	8,918	832	855	784	829	758	736	4,794
		717	727	717	669	719	691	4,240
緩和型A型	294	22	22	18	19	23	26	130
		34	49	49	44	42	37	255
訪問介護 (障がい)	516	49	44	44	40	52	50	279
		34	52	42	50	53	43	274

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
訪問介護(介護)	791	767	643	634	605	684	4,124	8,918
	682	669	632	607	633	635	3,858	8,098
緩和型A型	27	25	24	27	32	29	164	294
	41	40	48	39	42	43	253	508
訪問介護 (障がい)	44	40	47	19	28	59	237	516
	51	42	43	39	41	47	263	537

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

生きいきふれあい館

- ◇ 介護予防および地域交流、世代間交流の場等全世代の公共施設としての利用促進
 - ・ 小学校低学年の親子を対象にした「親子走り方教室」を開催しました。感染症流行の時期でキャンセルも相次ぎましたが 8 組の親子が参加し、親子の交流・生きいきふれあい館の PR にもつながりました。
 - ・ レインボーライン主催の貸館利用で世代間交流や、みそみ小学校児童と若狭町ゲートボール協会との地域交流等、幅広い世代の交流の場として利用していただきました。

◇ 利用実績

(単位：延利用団体数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
生きいき	825	52	50	54	51	28	43	278
ふれあい館		56	59	59	61	36	59	330

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
生きいき	59	54	70	63	92	79	417	695
ふれあい館	60	64	63	64	85	66	402	732

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

葬祭事業

◇ サービスの向上

- ・ ご遺族の方に穏やかな追想のときを過ごしていただけるよう、心をこめて業務にあたっています。
- ・ 地域に根ざした施設運営として北前川老人会による施設周辺清掃を10回（1月2月を除く毎月第3日曜日）受入れました。

◇ 利用実績

(単位：件数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
葬祭事業	—	21	20	11	12	17	23	104
		20	20	10	17	17	14	98

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
葬祭事業	26	21	21	23	21	29	141	245
	17	14	12	20	28	18	109	207

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

コミュニティカフェきらやま茶屋（障害者就労継続支援B型）

◇ 誰もが働きやすい環境づくり

- ・ 利用者の悩みなどを傾聴し、他の事業所と連携して対応することで、安心して利用できる環境づくりに努めました。また、外出行事や忘年会を実施し、利用者同士や職員との交流を深めることができました。
- ・ 職員の知識や技術、働く意欲の向上につながるように、3カ所の事業所を見学し、5つの研修や講習会に参加しました。
- ・ 商品開発や仕事の段取りなどにも利用者が参画し、ピアサポート（当事者同士の支援）にも力を入れ、向上心や自信の獲得、より良いチームワークづくりにつなげました。

◇ 利用者の工賃向上

- ・ 前年度に比べ平均工賃月額を744円増加させ、基本報酬を1段階上げる条件である25,000円を超えることができました。
- ・ 新たな焼菓子の商品を開発し、5つの販売先を開拓しました。嶺北地域にも店舗がある取引先なので、今後の販路拡大につなげていきます。
- ・ 内職部門では地場産業である梅や昆布の作業を新たに開始し、安定して作業ができています。
- ・ カフェでは新メニューの開発を進めてきましたが、担当職員の変更などもあり年度内での提供には至りませんでした。

◇ 誰もが楽しく利用できる施設づくり

- ・ これまでコロナ禍により開催できていなかった地域のイベントに4回参加し、商品販売やチラシの配布を行うことで事業所のPRにつなげました。
- ・ 地域の方に気軽に利用してもらえるように北陸新幹線開業に合わせたイベントを三方駅構内にて開催し、100名程の方が参加されました。

◇ 利用実績（定員：20名 営業日：月曜日～金曜日、ただし年末年始は除く）

就労継続支援は延利用者数（単位：人） その他項目は売上金額（単位：千円 ※端数切捨て）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
就労継続支援	4,849	376	382	390	346	369	370	2,233
		350	404	378	376	387	365	2,260
カフェ	5,404	382	450	427	395	466	411	2,531
		490	572	487	415	380	410	2,754
売店	1,119	94	135	96	76	105	86	592

		71	103	93	71	106	60	504
清掃・内職その他	2,862	173	298	225	248	265	243	1,452
		187	273	230	378	258	242	1,568
Felice	3,717	294	430	216	260	422	263	1,885
		145	195	191	270	406	231	1,438

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
就労継続支援	376	380	382	356	323	390	2,207	4,440
	361	366	344	323	340	331	2,065	4,325
カフェ	403	517	488	384	439	591	2,822	5,353
	388	507	351	300	337	420	2,303	5,057
売店	87	90	102	75	63	65	482	1,074
	90	47	70	64	69	48	388	892
清掃・内職その他	249	251	227	225	383	299	1,634	3,086
	266	253	216	216	372	359	1,682	3,250
Felice	452	213	527	106	215	434	1,947	3,832
	321	356	679	176	164	657	2,353	3,791

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

小規模多機能ホーム

- ◇ 地域交流の活性化を図り、利用者と地域の結びつきの強化
 - ・地域の頼れる福祉拠点として、利用者ニーズに合わせ臨機応変に対応し、地域での生活を継続できるよう取り組みました。
 - ・事業所同士が課題を共有し、連携の充実を図るため月1回、主任会議を開催しました。実施することにより自部所だけではなく他事業所の問題解決に努めました。

<小規模多機能型居宅介護みさき>

- ◇ 地域医療と連携し、利用者や地域の方々が健康に暮らせるように支援
 - ・主治医にメールや電話にて状態の報告や相談を行い、情報を共有する事で、利用者やその家族と医療とのパイプ役を果たすことが出来ました。
 - ・地域医療との連携を目的に僻地診療後の薬剤を高齢者宅に配送し、地域でみさきの存在が必要とされていることを改めて認識出来ました。

- ◇ 地域の方々との交流を大切にし、頼れる福祉拠点としての活動の充実
 - ・みさき通信にて介護相談を常時受付けている事を発信すると共に、運営推進委員から地域の情報を収集し、実際に自宅へ訪問し困っていることなどを具体的に拾い上げることが出来ました。
 - ・みさき職員で地域を回りみさきのPR活動を行い新規利用に繋がりました。また社協のインスタグラムのQRコードをみさき通信に添付し、幅広い世代に活動をPRすることが出来ました。
 - ・小学生や保育園児と交流会や地域づくり協議会主催のイベントにも参加し、世代を越えて交流することが出来ました。また家族介護教室を年間2回開催し、利用者家族をはじめ多くの地域の方々にご参加いただき、頼れる福祉拠点の役割を担うことが出来ました。

- ◇ 利用実績（定員：18名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：登録者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
小規模多機能型 居宅介護	162	14	14	14	14	15	14	85
		14	15	15	15	14	12	85

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
小規模多機能型	14	14	14	14	15	14	85	170

居宅介護	12	12	13	13	12	13	75	160
------	----	----	----	----	----	----	----	-----

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

<小規模多機能型居宅介護きやま虹の家>

- ◇ 子どもからお年寄りまで誰もが生きがいを持ち、明るい地域づくりの推進
 - ・ 世代を問わず、同じ地域で過ごす住人との交流を目的に、夏には地域の小学生を招き、夏休みイベントを行いました。また、地域づくり協議会への参加も積極的に行う事で、互いに協力し合えました。
 - ・ 介護の心配事や介護予防のこと、子どもたちの集いの場として事業所を開放し月2回、にじSUNの開催を行いました。
 - ・ 運営推進会議や役職員の研修時には、2階の利活用について相談し働きかけましたが、施設の構造上利用には繋がりませんでした。

- ◇ 安心して在宅生活が継続できるようサポート体制の充実
 - ・ 在宅での暮らしが快適で充実したものになるよう、訪問する機会を多くもち日頃の見守りや訪問などのサポートを行っていただけるよう地域との繋がり役として活動しました。

利用実績（定員：18名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：登録者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
小規模多機能型	152	16	14	16	16	15	15	92
居宅介護		10	10	10	10	12	12	64

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
小規模多機能型	13	12	11	10	10	10	66	158
居宅介護	12	12	12	12	12	13	73	137

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

介護予防拠点施設五湖の郷

◇ 地域交流の場としての機能強化

- ・利用者や家族、知人等の希望に応じて、介護予防拠点フロア内で感染対策を徹底し安全な面会及びカンファレンスを実施しました。
- ・交流事業の一環として梅の里保育園の園児や三方学童クラブによる発表及び交流会を行いました。
- ・園児や児童等が五湖の郷敷地内を自由に安全に利用できるように、定期的に整備し中庭を開放しました。
- ・西田公民館のリニューアルオープンイベント（作品展示会）に、各部署の利用者の作品を展示しました。

◇ ボランティア活動の推進

- ・定期的に活動いただいているボランティアは、環境美化ボランティア（草刈り・剪定・窓拭き）、レクリエーションボランティア（音楽・本読み・麻雀等）となっており、延べ172人の方が活動されました。

◇ 福祉学習の推進

- ・梅の里小学校とSDGsを目的とした福祉交流を行いました。交流内容は、先生や生徒と職員が一緒に考え牛乳パックをリサイクルして椅子作りを行いました。各部署多くの利用者が参加し交流することができ、高齢者や障がい者と児童達が身近にふれあう機会をもつことができました。更に地域住民とのつながりを目的として、製作した椅子を西田公民館や地域サロンへ贈呈しました。
- ・食に関する総合学習の一環として梅の里小学校と五湖の郷、地域福祉事業が共同で地産地消を目的に梅レシピを開発しました。

特別養護老人ホーム五湖の郷

<特養事業>

- ◇ 職員は定年まで働け、入居者は安心して過ごし最期を迎えられる施設環境を目指す
 - ・24時間シートを活用し習慣やこだわりなど個々の入居者の「自分らしさ」を出したケアの取り組みや認知症があっても自分の居場所として落ち着いて過ごしていただけるように努めました。
 - ・コロナが5類に変更後も感染予防対策を継続し回数制限はありますが、予約制で直接ご家族と入居者が触れ合える対面式面会を再開しました。タブレット面会では味わえない表情や言葉に繋がり、ご家族に喜んでいただけました。
 - ・心拍数を把握し異常があるとアラームにて知らせる看取りの環境を整えるロボットや、在宅では立位困難な入居者のトイレや車椅子への移乗を可能にするロボットを活用し、職員の腰痛予防としても優しい環境作りに取り組みました。
 - ・オンラインでの専門研修を受講し、他職員へ伝達研修を行う事で職員のスキルアップを図りました。
 - ・介護職員による細かな変化の気づき、看護職員による情報の精査および嘱託医との連携により、入居者の細かな体調管理に取り組み、年間入院者12名、入院日数266日、年間退所者10名の内7名が施設内で看取りを行いました。
 - ・食事サービス事業を特養五湖の郷で一体的に管理運営し、安定的な食事を提供するために完全調理品や外注品の弁当を取り入れました。

◇ 利用実績（定員：29名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
特別養護 老人ホーム	10,374	813	840	861	899	887	836	5,136
		844	891	798	841	870	861	5,105

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
特別養護	857	849	880	899	804	861	5150	10,286
老人ホーム	854	803	899	897	841	863	5157	10,262

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

<高齢ショート事業>

◇ 在宅での暮らしの継続が難しくなった時に終の棲家として選ばれる施設を目指す

- ・24時間シートを活用し、在宅生活の延長として習慣やこだわりを活かしながら、新たな楽しみを見つけられるような取り組み、自分の居場所として落ち着いて過ごして頂けるように努めました。
- ・介護ロボット等の機器の活用により、職員の腰痛予防としても優しい環境作りに取り組みました。
- ・家族やケアマネジャー等との相談や連携しやすい関係作りに努め、リアルタイムでの細かな報告や安全なサービス提供に努めました。また可能な限り緊急利用も受け入れ、年間8名37日間の緊急利用を受け入れました。

◇ 利用実績（定員：10名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
高齢者ショート ステイ(予防)	10	3	0	0	0	0	3	3
		0	0	0	0	0	0	0
高齢者ショート ステイ(介護)	3,092	242	242	262	252	253	237	1,488
		219	229	256	251	239	244	1,438

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
高齢者ショート ステイ(予防)	0	0	0	0	0	0	0	3
	0	0	0	0	0	0	0	0
高齢者ショート ステイ(介護)	214	185	254	225	229	261	1,368	2,856
	213	250	267	267	213	256	1,466	2,904

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

認知症対応型グループホーム五湖の郷

- ◇ 入居者と地域の多様な人材交流の場を提供し、認知症の相談・支援・啓発の拠点としての役割の強化
 - ・5/8以降は対面式の運営推進会議を年間5回行いました。入居者の日頃の様子が分かりやすいように写真や動画を用いて報告しました。グループホーム内の様子や研修内容などの取り組みを知ってもらい、認知症に対する理解や関心を深めることができました。
 - ・音楽ボランティアや保育園の発表会に参加し園児や地域の方々との交流ができました。また感染対策の徹底を継続しながら、ご家族等との面会の機会が持てるよう積極的に促しました。

- ◇ 入居者のニーズに対する医療との連携と体制強化
 - ・歩行が不安定な入居者の通院や急な体調不良による受診の付き添いを行い、ご家族の負担軽減に努めました。
 - ・主治医と連携をとり体調不良による悪化防止に努めました。また入居者の体調不良時の感染対策についても意見を仰ぎ実践し、今後の課題について検討しました。
 - ・特養やデイサービスと連携をとり、入居者の情報をリアルタイムに共有し入退居のスムーズな移行と家族の不安軽減に努めました。

◇ 利用実績（定員：9名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：延利用者数）

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
グループホーム	3,228	270	276	262	279	279	270	1,636
		270	268	263	270	263	240	1,574

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
グループホーム	279	270	248	275	196	253	1,521	3,157
	225	269	278	274	261	243	1,550	3,124

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

障がい者日中活動支援施設

- ◇ 障がいの程度やニーズに応じた支援の強化
 - ・ 利用者の利用実態を把握し、ニーズに応じたサービスを提供しました。
 - ・ 障がいの程度に応じた支援ができるよう職員は「サービス管理責任者研修」「虐待防止研修」「差別解消合理的配慮研修」等の研修に参加しスキルアップに努めました。

- ◇ 地域住民に対して障がい者（児）理解の促進
 - ・ 感染症対策を行いながら、障がいデイのレクリエーション活動に協力頂ける地域ボランティアを年間 41 回、嶺南東特別支援学校の実習生を年間 2 回受け入れました。また利用者自身が地域に足を運び、地域住民と関われる機会が持てるよう野外活動を年間 29 回実施しました。

<障がい者デイサービス事業（生活介護）>

- ・ 障がいの程度や利用ニーズを把握し、令和 5 年度より営業日を月曜～金曜日の週 5 日間で運営できました。
- ・ 週 5 日営業により平日の職員体制が充実し、外部研修、内部研修を行う事で、職員の専門性を高めることができています。
- ・ 生産活動を通じて地域社会と関わりあえる機会を年間 818 回実施しました。令和 5 年度から、SDGs 活動として古紙回収作業（資源リサイクル）を始めることができました。

- ◇ 利用実績（定員：20 名 営業日：月曜日～金曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
生活介護	2,364	197	197	207	207	197	197	1,202
		173	199	192	184	188	184	1,120

（下半期）	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	合計
生活介護	197	197	197	187	187	197	1,162	2,364
	191	191	187	175	175	183	1,102	2,222

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

<日中一時支援事業>

- ◇ 児童を安全に受け入れられる職員体制の整備

- ・利用者や家族の精神的及び体力的な負担を軽減するため、長期休暇（夏休み、冬休み、春休み）の時期は町外の利用者にもサービスを提供しました。

◇ 利用実績（定員：1～4名、営業日：月曜日～日曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
日中一時支援	1,008	84	84	84	84	94	84	514
		64	59	60	60	46	46	335

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
日中一時支援	84	84	94	74	74	84	494	1,008
	51	42	49	35	56	53	286	621

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

障がい者ケアホーム五湖の郷

- ◇ 利用者が安心して生活ができ、その上で生き生きと自分らしく過ごすことができるための支援
 - ・ 利用者の状態を迅速に関係機関へ報告し、支援方法を共有することができました。
- ◇ 五湖の郷障がい部門として健全な経営を行なうため、事業内容及び職員体制を見直し、経営改善に努める。
 - ・ 視覚支援としてルールを掲示及び周知したことで、利用者に分かりやすく、また職員も再確認できることで、省エネ活動（節電・節水）をはじめ、個々の支援にも繋げることができました。

<ケアホーム事業>

- ◇ 利用者が安全、安心に過ごし自立した生きがいのある生活ができる事業所づくり
 - ・ 日中支援事業所と利用者の状態を共有し、同じ視点で支援することで不安が解消し、利用者が安定して過ごすことができています。
 - ・ 利用者からの要望にこたえ、タブレット及びインターネット環境を整備し、映画鑑賞や体操などの余暇活動の充実、また職員のオンライン研修にも使用しスキルアップに繋げることができました。

- ◇ 利用実績（定員：7名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
ケアホーム	2,397	199	199	200	171	143	167	1,079
		174	205	188	201	192	191	1,151

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
ケアホーム	172	171	205	202	159	176	1,085	2,164
	197	197	201	192	161	160	1,108	2,259

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

<障がいショート事業>

- ◇ 緊急時なども含めて、使いたい時に使えるサービスづくり
 - ・ 緊急時や将来を見据えての利用を関係機関へ働きかけたことで新規利用や問い合わせが増え、定期利用へ繋げることができました。

◇ 利用実績（定員：2名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：延利用者数【1泊を1とする】）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
障がいショート	411	29	23	20	24	26	24	146
		18	24	21	24	30	29	146

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
障がいショート	20	24	21	22	23	25	135	281
	33	36	39	32	39	39	218	364

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

<移動支援事業>

◇ 感染症対策に十分配慮した上で、柔軟なサービス提供

- ・ ケアホーム利用者が移動支援事業へ登録し、希望する外出に利用しました。

◇ 利用実績（営業日：月曜日～金曜日）

（単位：延利用時間）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
移動支援	140	3.5	4	2	4	4	3.5	21
		0.5	0	0	0	1	0	1.5

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
移動支援	4	4	2	2	4	3.5	19.5	40.5
	1	1	0	2	0	1	5.0	6.5

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績